



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第95期上半期(2023年4月1日から2023年9月30日)の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

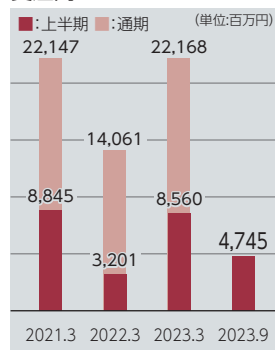
2023年11月



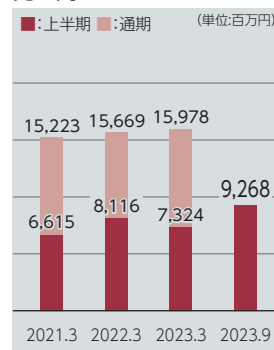
代表取締役社長 中村 達郎

財務ハイライト

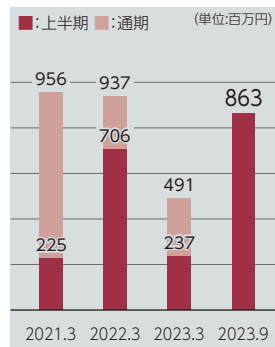
受注高



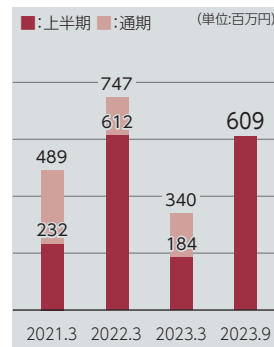
売上高



経常利益



純利益



第95期 中間 株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで

 高田機工株式会社

証券コード: 5923

当上半期の事業概況

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況の改善や各種行動制限の緩和等により経済活動の正常化への動きが進展いたしました。しかしながら、エネルギー・原材料価格の高騰による物価高や慢性的な人手不足、国際情勢不安、円安進行等、依然として景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、橋梁事業では首都圏を含む東日本地域での大型プロジェクトの発注が一段落したことや、高速道路会社の発注が減少したことで、新設鋼橋の発注は低調に推移し、受注競争は更に厳しいものとなりました。鉄構事業では、首都圏での大型再開発事業は概ね順調に推移したものの、諸資材、エネルギー価格の高止まりや人手不足等の要因により建築価格が上昇したことで、新規建設投資に慎重な姿勢が見られ、鉄骨需要は端境期が続きました。

このような厳しい状況のもとで当社は、受注の確保が最優先課題であることを徹底し、営業活動の強化に努めました。橋梁事業では実績のある地域を中心に応札案件を厳選し、限られた経営資源を効率的に活用することで一定の受注高を確保いたしました。堅調に推移した前年同期には届かない結果となりました。鉄構事業では、目標案件の契約が下半期にずれ込んだため、受注高は厳しい結果となりました。

損益面では、橋梁事業で数工事の工期延伸による完成工事高の伸び悩みがありました。保有機材の有効活用により採算性の向上した工事が増加したことで、完成工事総利益は前年同期比で大きく改善し、人件費の増加や物価高による「販売費及び一般管理費」の増加も吸収し、営業利益、経常利益、純利益は業績予想を上回る結果を残すことが出来ました。

中間配当金につきましては、1株につき50円とすることを2023年11月10日開催の取締役会において決議しております。

受注高	47億45百万円 前年同期比 44.6%増	↓
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">橋梁事業</div> 43億34百万円 前年同期比39.1%増 </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">鉄構事業</div> 4億11百万円 前年同期比71.5%減 </div>	
売上高	92億68百万円 前年同期比 26.5%増	↑
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">橋梁事業</div> 75億24百万円 前年同期比21.4%増 </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 3px;">鉄構事業</div> 17億43百万円 前年同期比55.0%増 </div>	
経常利益	8億63百万円 前年同期比 264.2%増	↑
純利益	6億9百万円 前年同期比 230.6%増	↑

橋梁事業

主な売上工事

東北地方整備局・中谷地地区橋梁・箱塚高架橋、中部地方整備局・西深瀬高架橋東、近畿地方整備局・高富川橋

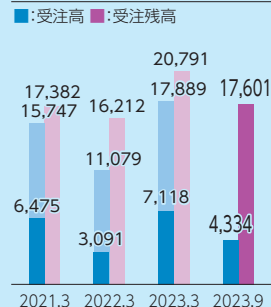
主な受注工事

静岡県・富士城11号橋、近畿地方整備局・矢倉川高架橋・野洲川橋歩道橋、中部地方整備局・清水IC Gランプ橋

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



鉄構事業

主な売上工事

大成建設(株)・虎ノ門二丁目地区・日本橋小網町計画、(株)大林組・淀屋橋駅西地区地上・淀屋橋駅西地区地下

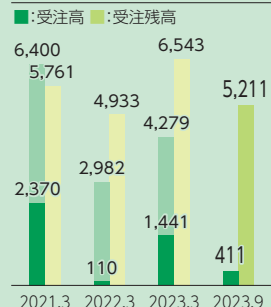
主な受注工事

大成建設(株)・Walkプロジェクト新築工事・岡山市新庁舎整備事業庁舎建築工事

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



会社概要

(2023年9月30日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	1922年11月
設立	1932年3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	代表取締役社長 中村 達郎
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
営業所	仙台・群馬・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,560,000株
発行済株式の総数	2,237,586株
株主数	3,920名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
BLACK CLOVER LIMITED	117	5.80
日本生命保険相互会社	113	5.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	112	5.53
神吉利郎	100	4.93
株式会社奥村組	88	4.37
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	81	3.99
株式会社紀陽銀行	58	2.88
株式会社三井住友銀行	50	2.47
三井住友信託銀行株式会社	50	2.47
東海鋼材工業株式会社	48	2.41

(注)1. 当社は、自己株式を208,085株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、発行済株式の総数より自己株式(208,085株)を控除して計算して表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告(https://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度について

当社では、株主の皆様への利益還元のひとつとして、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様へQUOカード2,000円分を贈呈する株主優待制度を導入しております。

参照URL:<https://www.takadakiko.com/ir/benefit.html>

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

